

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123221080	マーケティング Marketing	今泉充啓			2	選択	2前期

**科目の概要**

売れる商品を作るためには、消費者のニーズを知ることが必要であり、そのために行われるのが「市場調査（マーケティングリサーチ）」です。この授業では、マーケティング理論に加え、マーケティング活動を行う際に必要となる社会調査法やデータの分析方法の基礎を学びます。そしてDP2・3に記載されているような専門的知識・技能を活用し、社会貢献として新たなライフスタイルのデザインを提案することのできる人材の育成を目指します。  
授業時間内および授業時間外でGoogle Classroomを使用します。

学修内容	到達目標
① マーケティング戦略などのマーケティングの基礎知識を学ぶ ② 社会調査法を学ぶ ③ 回帰分析・主成分分析・クラスター分析を学ぶ ④ 調査から報告までのプロセスを学ぶ	① マーケティングの基礎知識を説明できる ② データの種類や調査方法を説明できる ③ 目的に応じた分析方法を選択し、分析することができる ④ 分析した結果をまとめ、発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	学習した分析方法を授業で用いたデータで、授業以外でも再現することができる
	働きかけ力	
	実行力	学習した分析方法を独自のデータで、授業以外でも再現することができる
考え抜く力	課題発見力	学年末試験のレポートの課題を自身で見つけることができる
	計画力	
	創造力	学年末試験のレポートの分析目的を明らかにすることができる
チームで働く力	発信力	分析結果を発表することができる
	傾聴力	教員の授業、他の学生の発言に耳を傾けることができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻をせず、授業に集中することができる
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する  
(参考文献については、適宜紹介する予定です。)  
レポートの書き方の参考として：津田塾大学ライティングセンター (<https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/20200708000000455.html>)

**他科目との関連、資格との関連**

この授業は、『ビジネス・地域活性の科目群』に属し、その後の「ビジュアルプレゼンテーション演習」や「イベントプロデュース演習」への応用が可能です。  
また、社会調査やデータを扱うための知識として「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」「リサーチリテラシー」と関わりがあります。また、分析するにあたり統計学知識が必要であるため「データ解析法」と関連します。  
資格としては「フードスペシャリスト」と関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
Excelには、主成分分析およびクラスター分析の機能はありません。従って、この授業では、これらの分析をExcel上でどのような手順で行うのか説明します。(私用のPCにExcelが入っていない場合、Googleスプレッドシートを利用します。)	①実習、病気などで講義を欠席する場合は、他の受講生に連絡し、配布物を貰っておいてください。 ②やむを得ず欠席した場合は、配布物で自習、友達に教えてもらう、質問するなど、遅れを取り戻すよう努めてください。 ③この授業では、授業内に提出してもらう課題(授業内課題)と、授業時間外に提出してもらう課題(授業外課題)の2種類があります。授業外課題は評価対象ですが、授業内課題は評価の対象としません(授業出席者は、全員、課題を提出しているはずなので)。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
		レポート	80	①	✓	・授業外課題（平常時、授業時間外に提出）：20点（5点×4回） 授業内容の復習として、4回ほど課題を出します。授業中にGoogle Classroomを使って課題シートをお渡しします。課題は必ず提出期間内に提出してください。期間外の提出はカウントしません（やむを得ない理由がある場合は、連絡してください）。出来不出来は問いません。相当と思われるレベルをクリアしていればOKです（例えば、「わかりませんでした」と記入し、提出してもカウントしません）。 ・最終レポート（学期末試験期間に提出）：60点 各自で「問題設定→データ収集→データ分析→発表」を行い、それに基づいて作成したレポートにより評価を付けます。（レポートは①形式、②内容、③オリジナリティーについて各3段階で評価します。） ＊あくまでもレポートであることを念頭において、あまり難しいテーマを設定しないようにしてください。また、自分が望む分析結果でなくてもかまいません。この授業の目的は、プロセスを学ぶことにあります。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓	受講人数により1人当たりの発表時間を決める予定ですが、今のところ5分程度を想定しています。  この発表はレポート作成がスムーズにできるために行うものなので、カラフルなPowerPointを作る必要はありません。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①		（主体性） 授業で配布したプリントを読み直す。 （実行力） 授業以外でもExcelを使う。 （課題発見力） レポートのテーマを探すことを日常生活においても意識する。 （創造力） 新聞・テレビ・インターネットから積極的に情報を得る。 （発信力） ディスカッションに積極的に参加していない。☒減点 （傾聴力） 話を聞く姿勢ができていない。☒減点 （規律性） 講義に支障をきたす行動。☒減点	
			②			
			③			
			④			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業で学修した統計学的知識と分析方法を使って、実際のデータ（ネット上に公開されているデータで可）を分析し、それをレポートにまとめることができる。 そのレポートについては、「分析の目的」「データと変数の説明」「分析方法と結果」「考察」の4点がそろっており、発表（第15回目）でのPowerPointの使い方が適切であり、聞き手にとって分かりやすい言葉で伝えることができる。	授業で学修した分析方法を使って、実際のデータ（ネット上に公開されているデータで可）を分析し、それをレポートにまとめることができる。 そのレポートについては、「分析の目的」「データと変数の説明」「分析方法と結果」の3点がそろっており、PowerPointを使用して発表（第15回目）することができている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス ・授業の進め方、出席確認、レポートについて、評価方法をシラバスを用いて説明する  第1章 統計データに触れてみよう *Web上に公開されているデータの入手先として「e-Stat」や「SSJDA」のサイトを訪れてみる(実際にお題を出します。どの統計調査の何のデータかは、当日のお楽しみです)	講義・演習	自分の望むデータが得られる調査先を突き止め、Web上からそのデータを入力することができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
2	第2章 統計データとは？ *Web上に公開されている調査を見ながら、変数と変量、連続と離散、母集団と標本など統計学用語を学ぶ。また、社会調査の種類や調査方法、抽出方法など社会調査に関連する用語についても学ぶ。	講義・演習	授業で説明した統計用語と社会調査に関連する用語を説明できる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
3	第3章 Excelを使ってみよう！ *平均値、中央値、最頻値など基本統計量の意味を理解し、Excelを使って実際のデータから求める方法を学ぶ。また、データからヒストグラムを作成する方法を学ぶ。	講義・演習	授業で説明した基本統計量(平均値、中央値、最頻値、最大値、最小値、分散、標準偏差)を説明することができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
4	第4章① 回帰分析<解説と例題> *回帰分析の目的と活用方法を学び、実際のデータ(勉強時間と点数の関係)を用い、Excelでの実行方法を理解する	講義・演習	勉強時間と点数の関係について、回帰分析を行うことができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
5	第4章② 回帰分析<実践> *量的データと質的データの違いを理解し、分析で用いる変数の作り方(ex. ダミー変数)を学ぶ。また、実際のデータ(桜の開花に関するデータ)を使って、自分自身で分析する(質問OKです)	講義・演習	量的データと質的データの違いを説明でき、ダミー変数の作成方法、分析での使い方が分かる。また、与えられたデータを使って回帰分析を実行することができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	80	主体性 実行力 規律性
6	第5章① 主成分分析<解説と例題> 主成分分析の目的と活用方法を学び、実際のデータ(中学生の身体測定の結果)を用い、Excelでの実行方法を理解する	講義・演習	中学生の身体測定の結果のデータを使って、主成分分析を順を追って実行することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
7	第5章② 主成分分析<実践> *実際のデータ(各球団個人打撃成績優秀者)を使って、自分自身で分析する(質問OKです)	講義・演習	与えられたデータを使って、レジュメの解説を見ながら主成分分析を実行することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
8	第6章 マーケティングとは？ *マーケティングとは何かを理解し、ベンチマーキングやマーケティングミックスなどの経営戦略、経営戦略(KGI, KPI)に関する指標を学ぶ。また、マーケティングリサーチのプロセスおよび社会調査を行う際の関連法規を理解する。	講義・演習	マーケティングリサーチの目的、アンケート調査を行う際の注意点(不正アクセス禁止法や個人情報保護法などの内容、ネットの脅威)が説明できる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第7章① クラスタ分析<解説と例題> クラスタ分析の目的と活用方法を学び、実際のデータ(自動車メーカーのイメージアンケート)を用い、Excelでの実行方法を理解する	講義・演習	自動車メーカーのイメージアンケートのデータを使って、クラスタ分析を順を追って実行することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
10	第7章② クラスタ分析<実践> *実際のデータ(明治安田生命J Iリーグ順位表)を使って、自分自身で分析する(質問OKです)	講義・演習	与えられたデータを使って、レジュメの解説を見ながらクラスタ分析を実行することができ、デンドログラムを作成することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
11	第8章 レポートの作成に向けて *調査の流れ(計画・準備・収集・分析・報告)とレポートの書き方(レポートの構成や参考文献の書き方)を学ぶ。また、レポートに図・表を挿入する方法を覚える。	講義・演習	レポートの作成手順を理解し、正しく「参考文献」が書ける	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
12	第9章① レポートの作成に向けて—Excelによる解析①— *最終レポートのため、自分で入手したデータを使って分析(回帰分析、主成分分析、クラスタ分析のいずれか)を行う	講義・演習	分析目的に応じたデータを収集し、適切な分析を行うことができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
13	第9章② レポートの作成に向けて—Excelによる解析②— *前回のつづき	・レクチャーと実習	分析結果や基本統計量など、レポートに必要な図・表を作成できる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
14	第10章① レポートの作成に向けて *PowerPointを使って、発表の準備を行う (「タイトル」「目的」「使用したデータ」「分析方法」「分析結果」「まとめ」の計6種類のスライドを作成する)	講義・演習	PowerPointを用いて、スライドを作成することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
15	第10章② レポートの作成に向けて *作成したスライドを使っての個人発表	オンデマンド形式による講義・演習	PowerPointを使って、自分の分析結果を他の学生に説明することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力